

計画の推進 持続可能なまちづくりの推進（行財政運営）

最後に、「持続可能なまちづくりの推進」について申し上げます。

まず、人口減少対策とシティブランド戦略の推進につきましては、地元への就職を促し、特にUターン移住を促進するために、奨学金返済支援を引き続き行うとともに、県外からの移住者増加を図るために、住宅新築・購入及び改修に対する支援を行ってまいります。さらに、人生100年時代を迎えるなか、誰もが“わくわく”暮らせるまちづくりを目指し、本年4月に供用開始いたします生涯活躍のまち拠点施設（ワクリエ新居浜）のオープニング事業を実施し、利活用促進を図ってまいります。

また、AIを活用した「愛結び」や出会い交流イベントの開催により未婚の男女の出会いを提供し、結婚へ繋げてまいります。さらに、お見合いの立会いなど結婚サポーターによる支援を充実します。

また、新居浜市シティブランド戦略に基づき、新居浜市民が誇りと愛着を持てるまちを目指し、Hello! NEWプロジェクトを推進し、新居浜市の知名度・認知度及び魅力向上に努めてまいります。

次に、開かれた市政の推進につきましては、市政だよりやホームページ、SNSをはじめとする各種広報ツールを複合的に活用することにより、市民の皆様により親しまれる広報への取り組みを進めます。

また、市長への手紙やメール、広聴票のほか、市政モニターへのアンケートや公共施設の視察等を通じ市政への理解と行政との信頼関係を構築してまいります。

次に、効果・効率的な自治体経営の推進につきましては、令和3年度を初年度とする「新居浜市行政改革大綱2021」の行政運営改革、財政基盤改革、人材育成改革の3つの柱に、新しいもの・ことを積極的に取り入れていく、進歩の視点で取り組み、「市民が心豊かに、幸せを実感できる市役所づくり」を目指してまいります。

また、ICTなど先進的技術の活用により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、各種課題の解決を図るスマートシティの実現に向け、子ども、高齢者の見守り及びバスロケーションシステムの実証実験等に取り組んでまいります。

また、特定財源の確保及び歳出の抑制による歳入準拠の予算編成を行うなど、健全財政の維持に努めるとともに、ふるさと応援寄附金の安定的な確保のため、特色ある返礼品の開拓に取り組んでまいります。

また、「新居浜市アセットマネジメント推進基本方針」に基づき、施設保全計画の策定、予防保全工事の実施に取り組むとともに、「新居浜市公共施設再編計画」に基づき、複合化や統廃合による公共施設の再編を検討してまいりま

す。

また、共通の産業基盤を持つ新居浜市、西条市、四国中央市のものづくり3市連携を強固なものとするため、引き続き、「愛媛ものづくり さんさん都」の愛称を用いた3市合同での移住フェア出展による首都圏でのPRや担い手確保のための合同就職説明会など、圏域全体のさらなる持続的発展につながる取組を実施してまいります。

次に、ICTの利活用と市民サービスの向上につきましては、昨年5月にスタートいたしました「あかがねポイント」について、利用者満足度の向上を図るため、ポイントが利活用しやすい仕組みについて調査研究してまいります。

さらに、AI、RPA等、ICTを利用した新たな市民サービスの構築に向け、最新の情報収集に努めるとともに調査研究を進め、行政業務システム等の導入や見直しについて取り組んでまいります。

また、デジタル社会構築の基盤となるマイナンバーカードにつきましては、交付円滑化計画に基づき、令和4年度末までに全市民が所持すること目指し、体制を強化し交付促進に努めてまいります。

また、本年3月から住民票、印鑑登録証明書の「コンビニ交付サービス」を開始するなど、行政事務のオンライン化を進めてまいります。

次に、**過疎地域及び離島地域の振興**につきましては、それぞれの振興計画に基づき、地域の活性化に向けた取組を進めてまいります。

以上、令和3年度の市政運営につきまして、私の基本的な考えと重要施策について申し上げます。